

# 平成20年度がスタート

平成20年度が始まり、新年度の予算や市の組織など、安城市の新体制がスタートしました。この特集では、その概要のほか、4月からの生活にかかわる情報をお知らせします。

## 当初予算

問い合わせ▼財政課

市議会3月定例会で平成20年度当初予算が議決されました。市長の施政方針と合わせて、その概要をお知らせします。

### ●●●●●施政方針●●●●●



市長就任以来、財政的には景気が上向きの回復を続け、健全で効率的な、バランスの取れた行財政運営を続けることができている。しかしながら、最近では、アメリカのサブプライムローン問題や、生活用品などの

物価の上昇、建築基準法の改定に伴う住宅建設の減少など、好調な景気の先行きを不安にさせる事柄が増えているように感じます。そのような中、基本方針として、かつて本市が、財政再建団体から再興を果たした先人たちから、脈々と受け継いできた、儉約の精神やフロンティアスピリットを思い起こし、気持ちを引き締め、身の丈をわきまえた行財政運営に心がけることを考えています。

また、この地域は、自動車関連企業を中心に、生産活動が引き続き好調であるため、日本経済の土台を支え、中枢を成す存在となっています。このため、わたしたちの地域の活躍が、日本の明るい未来につながると考えています。そのためには、行財政運営を担っている市職員の意識改革も必要です。そこで、国連が提唱する「持続可能な地域づくり教育」を実施し、職員

の資質の向上を図ることとしていきます。さらに、市民にも市政に積極的に参画いただき、安全安心な、より良い安城を築くことにお力添えをお願いしたいと考えています。

わたしは、昨年の2月の市長再選に際し「環境首都にかえる」とテーマ付けをした、新たな12項目のマニフェストを公表しました。今年度予算では、その実現に向けた具体的な施策を積極的に計上し、一方で、エコサイクルシテイの実現や交通渋滞の緩和策によりCO2排出量の削減をめざし、他方では、子育て支援の充実と福祉の拠点整備などに力を入れた「環境にも人にもやさしい積極的予算」とすることができました。今後、常に透明な行政を進めつつ「子どもたちに希望、市民に誇り」の持てるまちづくりをモットーに「夢のあるまちづくり」のためにまい進していきます。

当初予算…12～14ページ  
市役所の組織改正…15ページ  
下水道…16ページ  
水道・道路・医療…17ページ

### ●●●●●一般会計●●●●●

前年度当初予算に比べ5.5%増の596・9億円。平成19年度からの継続事業に加えて、大型事業が集中するため、過去最高額の予算規模となっています。

●歳入 市民税は、円高や原材料費の高騰などの影響が不透明

なものの、この地域の企業活動は、引き続き好調が期待できるため、若干の増収見込み。固定資産税は、宅地開発の増加などで増収の見込み。市税全体では381億円余と前年度予算対比3.5%の増額になり、過去最高額を5年連続で更新。

国庫支出金は、大型補助事業の終了やまちづくり交

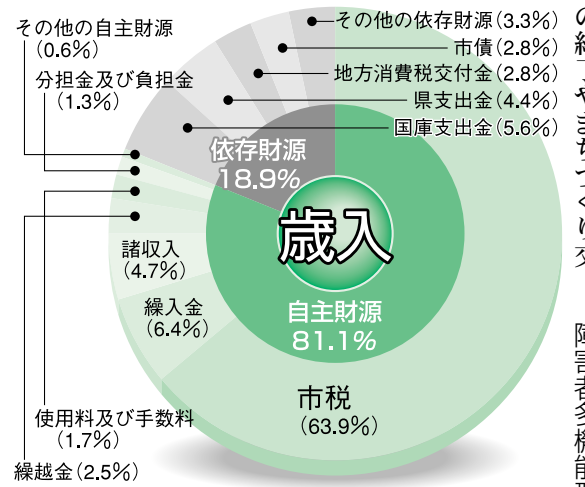
付金事業の減少などで前年度予算対比13・2%の減額。

●歳出 主な事業は次の通り。  
環境▼雑紙の回収実施、リサイクルステーションの増設  
子育て支援▼中学校卒業までの医療費を無料化、妊婦検診の助成回数を拡充  
福祉▼中部福祉センターの建設、障害者多機能型通所施設建設へ

の助成  
教育▼特別支援教育補助員制度の導入、中部学校給食施設整備のドライシステム方式による改築工事  
防犯▼小学校の周囲へフェンスを設置  
防災▼木造住宅の耐震改修に簡易型の助成制度を導入

### ●●●●●事業の紹介①●●●●●

歳入(596億9000万円)		
自主財源	市税	381億6200万円
	繰入金	38億3771万円
	諸収入	27億8281万円
	繰越金	15億0000万円
	使用料及び手数料	10億1436万円
	分担金及び負担金	7億6212万円
依存財源	その他の自主財源	3億3409万円
	国庫支出金	33億5176万円
	県支出金	26億1745万円
	地方消費税交付金	17億0000万円
	市債	16億7670万円
その他の依存財源	その他の依存財源	19億5100万円



歳出(596億9000万円)	
民生費	147億0456万円
土木費	138億9485万円
教育費	91億1827万円
衛生費	73億2088万円
総務費	61億3014万円
公債費	34億0989万円
農林水産業費	19億6882万円
消防費	18億6138万円
商工費	5億1805万円
議会費	3億8182万円
その他	3億8134万円

市民1人当たりの歳出	
民生費	8万2664円
土木費	7万8112円
教育費	5万1260円
衛生費	4万1155円
総務費	3万4461円
公債費	1万9169円
農林水産業費	1万1068円
消防費	1万0464円
商工費	2912円
議会費	2146円
その他	2144円

※2月末の人口17万7884人で算出。



市民会館改修ESCO事業(6億5000万円)



住宅耐震診断・改修補助事業(7870万円)



古紙資源化促進事業(1955万円)

